

2016年(平成28年)9月30日 金曜日

岐 阜 新 聞

日本酒の魅力、意見交換

飛騨市の世界ワイン品評会から訪問
渡辺酒造店



渡辺酒造店の酒蔵を視察するアンドリュー・リードさん(右から3人目)＝飛騨市古川町壱之町

世界最大級のワイン品評会「インターナショナル・ワイン・チャレンジ(IWC)」の最高責任者で、英国出身のアンドリュー・リードさんが28日、飛騨市古川町壱之町の渡辺酒造店を視察訪問し、都竹淳也市長や渡辺久憲同酒造店社長らと日本酒の魅力や可能性について意見交換した。

同店の普通酒「小町桜」は、今年7月にロンドンで開かれたIWCの日本酒を審査するSAKE部門で、手頃な価格で最も良質な酒に贈られる最高賞「グレートバリュー・アワード」を受賞した。

懇談会で、渡辺社長は「IWC受賞以後、小町桜の売り上げが飛躍的に伸び、海外からも引き合いが相次いでいる」と感謝した。

リードさんは「さまざまな手数料で日本酒は高価なものになっている。今後、市場を拡大していくためには流通プロセスを簡略化していく努力が大切」と話した。

(古宿博史)